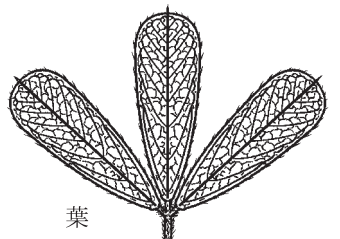


ハギ属 (Lespedeza) メドハギ類の図解検索表

A 細脈まで明瞭に透視し、脈理は網目状をなす

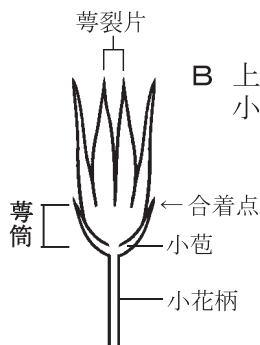
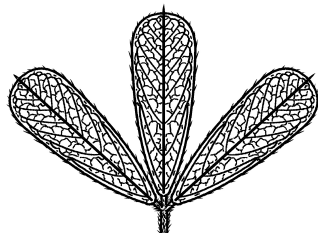


葉

(脈拡大)



(図:シベリアメドハギ)



B 上側の2萼裂片の合着点は中央より基部側にある
小苞は萼筒よりも長い

萼(上面からみた図)
(毛などを省いたイメージ)

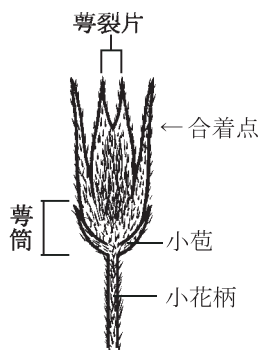
C 小花柄に腺毛がある 葉上面は有毛
【サガミメドハギ *L. hisauchii*】

C 小花柄に腺毛はない 葉上面は無毛
【オオバメドハギ *L. davurica*】

B 上側の2萼裂片の合着点は中央より先側にある
(小苞は萼筒よりやや長い~同長~短い)

C 開放花の小花柄は普通1mm前後(2mm以下)
花序軸はほとんど伸びない
小葉は楕円形~倒卵形 【カラメドハギ *L. inschanica*】

C 開放花の小花柄は普通2~3mm(稀に1.5~6mm)
小葉は狭倒卵形~狭長楕円形
(果実に毛は密生する)



萼(上面からみた図)
(図:シベリアメドハギ)

D 果実の毛はやや長く、縁から抽出する
上部の枝には多数の果実が稔る
【シベリアメドハギ *L. juncea*】

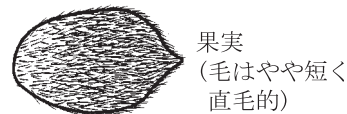
萼(側面図)



果実
(毛は長い)

D 果実の毛はやや短く、直毛
上部の枝につく果実は大変少なく、不稔果が多い
【雑種(シベリアメドハギ×メドハギ)】

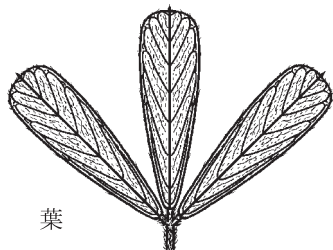
(萼裂片の巾はメドハギ
とシベリアメドハギの
中間的)



果実
(毛はやや短く
直毛的)

A 側脈が明瞭に透視する

(脈拡大)



葉

(図:メドハギ)



B 茎は立つ
(小苞は萼筒より短い)

【メドハギ *L. cuneata*】

萼(側面図)

(裂片は巾が狭い)



果実
(毛は疎らで地肌
の網目がみえる)

B 茎は基部から倒れ這う

【ハイメドハギ *L. cuneata* var. *serpens*】

《萼裂片の脈について》

閉鎖花の萼の脈が3本か否かの検索キーがあるが、シベリアメドハギなどでは押し葉では顕著となるが、生時には大変薄くて確認しがたく、その上果時には閉鎖花か開放花かの判断がつけがたく、加えて、シベリアメドハギでは閉鎖花・開放花ともに3脈以上が明瞭であるが、メドハギにおいても明瞭なのは1脈だが実際には1~3脈あり、現場では特に注目する必要がないと考える。